

専門研修カリキュラムの検討について (利用者支援事業)

※橋本構成員作成資料

<研修の目的>

利用者支援事業に従事する職員に必要な基礎的な知識や技術等について習得し、事業に従事する職員としての資質の確保を目的とする。

<科目の考え方>

- ・利用者支援事業は、中心となる援助方法が間接的支援であることから、事前の研修や知識の提供よりも実際の事例対応を通して援助方法を身につけていく方が効果的であると予想される。
ただし、事前に学ぶ視点を提供しておくことで実践からより効率よく必要な知識や技術を習得できると考えられる。
そこで、専門研修は従事者が実践から学ぶための視点の提供を中心として、最低限の研修内容とする。
- ・利用者支援事業の専門職員は、地域子育て支援の一定の経験を有する者である必要があることから、これまでの経験を活かして、自身で主体的に情報収集と整理を行う力を身につけておく必要がある。
- ・付加する研修内容は、利用者支援事業実施要綱やガイドラインに示される内容を勘案し、現段階では、地域資源の把握と記録の作成に関する内容を付加することが望ましい。
- ・研修時間は、地域によって講義・演習の研修は都道府県で担い、見学実習は市町村が担うことも考えられる。そこで、講義・演習の研修時間は最短で1日で終わられるように設定する(8時間)。ただし8時間を超えての研修が望ましい。
- ・これまで(平成25年度)に検討した研修カリキュラム案に事前学習と見学実習を付加し、専門研修に位置づけ。

<検討点>

- ・子育て支援員(仮称)研修制度の他の専門研修コースの研修時間・研修内容との整合性について
- ・類型(基本型・特定型)ごとの研修内容の検討について
- ・子育て支援員(仮称)研修制度の基本(共通)研修の修了者も、その後に地域子育て支援拠点事業等の一定の地域子育て支援の実務経験の有無について(研修の受講要件について)

専門研修カリキュラム（利用者支援事業）について

科目	内容	時間数	備考・実施主体
1. 事前学習（8時間）			
①	演習 地域資源の把握 ・地域資源の把握 ・受講者の周りの地域資源の情報収集と整理の実施	（480分 （8時間） 相当）	事前宿題形式 都道府県・市町村
2. 講義・演習（8時間）			
②	講義 利用者支援事業の概要 ・事業成立の背景と目的 ・事業の内容 ・当該地域における実施状況	60分	都道府県・市町村
③	講義 地域資源の概要Ⅰ ・社会資源とは ・地域における社会資源の把握と連携	60分	都道府県・市町村
④	講義 利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理 ・利用者支援専門員の役割 ・支援における基本原則～受容と自己決定の尊重、信頼関係の構築～ ・特別な配慮が必要となる利用者への配慮事項 ・個人情報と守秘義務	120分	都道府県・市町村
⑤	講義又は演習 記録の取扱い ・記録の目的 ・記録の種類、項目 ・記録の管理	30分	都道府県・市町村
⑥	演習 事例分析Ⅰ ～ジェノグラムとエコマップを 活用したアセスメント～ ・ジェノグラムとエコマップの書き方 ・事例に基づくジェノグラムとエコマップの作成と支援方法の検討	90分	都道府県・市町村
⑦	演習 事例分析Ⅱ ～社会資源の活用と コーディネーション～ ・事例による地域における社会資源の活用と連携の検討	90分	都道府県・市町村
⑧	講義 まとめ ・利用者支援事業で求められる姿勢についての再確認	30分	都道府県・市町村
3. 見学実習（8時間）			
⑨	見学実習 地域資源の見学 ・地域資源の実際を見学により学ぶとともに、担当者との面識をもつ	480分 （8時間）	市町村

<合計 1,440分(24時間)>

(参考) 子育て支援員（仮称）研修制度の基本研修カリキュラム案について

・第3回子育て支援員（仮称）研修制度において提示した基本研修カリキュラム案

科目	内容	時間数
1. 専門的な知識を全体像で捉えるための科目		
①	【講義】 子ども・子育て家庭の現状 子どもの育つ社会・環境、子育て家庭の変容、ワーク・ライフ・バランス	60分
②	【講義】 子ども家庭福祉 子ども・子育て支援新制度の概要、子ども家庭福祉施策の理解 子ども家庭福祉に係る資源の理解	90分
2. 事業特性に応じた知識を理解するための科目		
③	【講義】 子どもの発達 発達の理解、発達への援助、胎児期から青年期までの発達、子どもの遊び	60分
	子育て支援員の役割と倫理	
④	【講義】 保育の原理 発達・成長の保障、情緒の安定、生命の保持	60分
⑤	【講義】 対人援助の価値と倫理 保護者・職場内・他組織との連携・協力、守秘義務・個人情報保護、 子どもの最善の利益、利用者主体、対象者の尊厳の遵守	60分
3. 専門研修の内容を理解するための科目		
⑥	【講義】 子ども虐待と社会的養護 子どもの虐待と影響、虐待の発見と通告、虐待を受けた子どもに見られる行動、 子どもの権利を守る関わり、社会的養護の現状	90分
⑦	【講義】 子どもの障害 障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む)、 障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携、障害児支援サービス等の理 解	60分
4. 子どもの安全確保		
⑧	【講義】 緊急時の対応 子どもの事故と予防、子どもの疾病、緊急時の対応	60分

＜合計 540分(9時間)＞

※ 以上の案は第3回検討会に示した素案。第3回の議論を踏まえ、第4回の検討会において修正あり。

【参考】 これまでの研修カリキュラム案にかかる研修時間との比較

科目	これまでの案	見直し案
1. 事前学習		
① 演習 地域資源の把握	—	480分
2. 講義・演習		
② 講義 利用者支援事業の概要	90分	60分
③ 講義 地域資源の概要 I	90分	60分
④ 講義 利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理	120分	120分
⑤ 講義又は演習 記録の取扱い	60分	30分
⑥ 演習 事例分析 I ～ジェノグラムとエコマップを活用したアセスメント～	180分	90分
⑦ 演習 事例分析 II ～社会資源の活用とコーディネーション～	120分	90分
⑧ 講義 まとめ	60分	30分
3. 見学実習		
⑨ 見学実習 地域資源の見学	—	480分
合計	720分	1,440分